利用成果報告書

1 課題番号　R6-C17

2 報告者　一橋　和義　東京大学医学部附属病院

3 利用区分　成果公開有償利用

4 利用課題名　ナマコ抽出液に含まれる薬理学的な有用成分の分析

5 使用装置名　micrOTOF

6 利用期間　令和　6年　4月　1日　～　令和　7年　3月　31日

7 利用成果・実績の概要　飛行時間型質量分析装置を用い、様々な種類のナマコのサポニン類の探索を行い、サポニン類の多い種を判別できた。また、ナマコを傷つけることなくサポニン類を分析する方法を示せた。また、現段階では追試やエタノール以外の他の溶媒での検討等は必要であるが、有機溶媒をサポニン類の抽出や試料の希釈に使わないでサポニン類の検出を行えることを示した。安全かつ環境にやさしい方法と考えられた。特にナマコの生息環境に赴いて新鮮な試料を得る場合には特に有用となると考えられた。

8 社会・経済への波及効果　ナマコのサポニンを例に生物から得られる薬理活性物質の探求について、対象生物に対して非侵襲で実験者の健康および環境にやさしい方法を示した。水生生物の生理活性物質の探索の一助となると考えられる。

9 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
実験室内及び野外でのナマコサポニンの簡便な検出法（ポスター発表）	一橋和義	令和7年度 公益社団法人日本水産学会春季大会（北里大学相模原キャンパス）	R7.3.27	国内

10 学会誌・雑誌等における論文掲載　該当無し